

新型コロナウイルス感染者等への配慮のお願いについて

学校園が再開し、新年度がスタートした喜びも束の間、明日から再び市立学校園が休校園となります。緊急事態宣言を踏まえ、各ご家庭におかれましても、不要不急の外出を自粛するなど、感染予防対策により一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、子どもたちも保護者の皆様も、そして、学校園の教職員も、感染症そのものへの不安だけでなく、万が一感染者、濃厚接触者となってしまう、それが広く知れわたってしまった後の偏見・差別への不安をもっています。3月以来、皆が感染と感染等による偏見・差別への大きな不安を抱える中で、各自が感染予防対策を徹底し、制限のある中で生活しているのです。

そのような中、噂や憶測を基にした言動をしたり、感染者や濃厚接触者への差別や偏見とともとれる内容をSNSへ書き込んだりする例が、全国で報じられています。

新潟市の学校園では、「学校園再開に向けたガイドライン」下記ページに基づき、子どもたちの発達段階に応じて指導したり、対応したりしています。

9 感染者・濃厚接触者への偏見・差別



○児童生徒への指導

- ・感染者、濃厚接触者とその家族、この感染症の対策や治療にあたる医療従事者の家族に対する偏見や差別につながる行為は、断じて許されないものであり、新型コロナウイルス感染症に関する適切な知識を基に、発達段階に応じた指導を行うことなどを通じ、このような偏見や差別が生じないようにすること
- ・誰もが感染者、濃厚接触者になりうる状況であることから、隔離や治療を余儀なくされた人やその周辺の方々の困難や偏見や差別の対象となった人の苦しみに寄り添うことが大切なこと
- ・偏見や差別が原因によるいじめの発生を防ぐこと(咳をしている、マスクなし、欠席している等へのいわれのない中傷、ウイルス名を面白半分に使うなど)

○外国にルーツをもつ子ども及び諸外国への配慮

- ・TV、インターネット等による外国の情報を基にした根拠のない差別的な発言、偏見、人権侵害にあたる行為は許されないことについて十分に留意すること

○教職員の対応

- ・個人情報保護の観点から、児童生徒及びその関係する感染者、濃厚接触者等の状況についての秘密を守ること。特に、文書の配付において情報漏洩につながる表記がないようにすること

各ご家庭でも、「偏見・差別の対象となるのでは」という不安を解消するためにも、まずは自分が、根拠のない噂や憶測から感染者・濃厚接触者に対する偏見・差別の気持ちをもたないようにしようと、今回の休校期間中に、ぜひお子さんと話し合ってください。